

消防署との合同訓練の実施について

平成 20 年 11 月 11 日

浜岡原子力発電所において、牧之原御前崎消防署と合同で、火災対応訓練を以下のとおり実施しましたので、お知らせします。

本訓練は、当社消火要員の技能向上および防災意識の高揚を図るとともに、牧之原御前崎消防署との連携が有効に機能していることを確認するために、平成9年度から実施しています。

また、今回の訓練は総務省消防庁主催による「原子力施設における消防訓練のあり方に関する検討のためのモデル訓練(※)」としての基礎データを収集する目的を兼ねて実施しました。

※ 今年度、消防庁において「原子力施設における消防訓練のあり方に関する検討会」が開催され、原子力施設の防火安全対策の強化を図るため、公設消防および原子力事業所等向けの実践的な消防訓練のモデル計画作成等の検討が行われています。

今回の訓練では、このモデル計画作成等に必要な基礎データを収集しました。

訓練の概要

1. 日時
平成20年11月11日(火) 9:45～16:30
2. 場所
浜岡原子力発電所構内
3. 訓練概要
放射線管理区域外での訓練として、3号機屋外重油タンクで、地震により同タンクにつながる配管に亀裂が生じ、タンク内の重油が漏えいし、火災が発生したという想定で、泡消火を模擬した放水訓練を実施しました。
また、放射線管理区域内での訓練として、4号機タービン建屋大物搬入口付近の作業エリアから出火し、養生シート等に延焼し火災が発生したことを想定した火災対応訓練も実施しました。
さらに、机上において模擬通報等、消防署との連携を含めた火災対応の手順を確認する訓練を実施しました。

訓練の様子



以上